

入選

みんなのあいさつの笑顔

福井県 高椋小学校

6年 松田紬希

「おはようございます。」「おはよう。今日は良い天気だね。」

私は毎日、見守り隊のおばあちゃんにあいさつしてから学校へ行く。学校に行くのが正直に言う
とだるい日でも、おばあちゃんとあいさつすると、魔法にかかったように気持ちが楽になって、が
んばるぞと学校へ行くことができる。

見守り隊の人たちは、どんなに大雨でも大雪でも嵐でも、毎日小学生全員が登校するのを見守っ
てくれている。見守りをしてお金がもらえるわけでもないのに、どうしていつも見守りをしている
のだろうか。コンビニの前にいる見守り隊のおばあちゃんは、

「毎日、歩くのはつかれるけれど、小学生のみんなが元気いっぱいにあいさつをしてくれると、
元気をもらえるんだよ。おばあちゃんたちはね、みんなの笑顔を見るために見守りをしているんだ
よ。」と言っていた。

私は、お金をもらうために大人は働いていると思っていた。でも、お金なんかよりも素晴らしい
価値があるから、ボランティアをする人はがんばれるということを知った。心がポワッと温まる気
がした。

残念なことに、見守り隊の人があいさつをしても、あいさつを返さない子や、聞き取れないよう
な小さな声の子もいる。そんなとき、見守り隊の人は少し寂しげに見える。私も1年生のとき、小
さな声であいさつしていた時期があった。でも、初めて会う、知らない人に上の学年のお兄さん、
お姉さんが当たり前のように元気よくあいさつしていて、びっくりした。みんなの様子を見て、小
さい声ではいけないと思い、私も元気にあいさつをするようになった。

私は、見守り隊の人たちのために何かをしたいと思い、私にできることはないかと考えてみた。
大きなことはできないけれど、みんなができることがある。私は、だれよりも大きな声で見守り隊
の人にあいさつをして、ほかの子のお手本になろうと思った。みんな一人ひとりが笑顔で、大きな
声で自分からあいさつができるように、友達にも声をかけたいと思った。

そして、朝だけではなく、人に会ったときにもあいさつを心がけたい。見守り隊のみなさんへの
恩返しは、「みんなのあいさつの笑顔」がたくさん咲く、幸せな気分になれる通学路にすること
だ。

見守り隊のおばあちゃんは、あいさつだけでなく、「今日は運動会やね、がんばれ。」や「最近、
身長伸びたね。もう少しで追い抜かれそう。」と日頃、話しかけてくれる。とてもうれしい。私は
いつも、おばあちゃんに感謝している。ずっと元気でいてほしい。

見守り隊の人たちのおかげで、私はボランティアの目的や大切さを学ぶことができた。私も、ま
わりの人たちを笑顔にできるような存在になりたい。

そして、見守り隊のみなさんように、幸せのお手伝いをしてみたい。